# Capios 75

## 使用説明書

ご使用前にお読みください。


ミノルタ株式会社
ミノルタ販売株式会社

フォトサポートセンター

弊社製品のカメラ、交換レンズ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、露出計など写真や画像に関わる製品の機能、使い方、撮影方法などのお問い合わせをお受けいたします。

ナビダイヤル　0570-007111
ナビダイヤルは、お客様が日本全国どこからかけても市内通話料金で通話していただけるシステムです。

TEL　03-3356-9111（携帯電話・PHS等をご使用の場合はこちらをご利用ください。）
FAX　03-3356-6303
受付時間　10:00〜12:00、13:00〜17:00（土・日・祝日定休）

サービスセンター・サービスステーション

製品の故障や修理についてのご相談をお受けいたします。

サービスセンター
新 宿（03）3356-6281㈹
大 阪（06）6341-6501㈹

サービスステーション
札 幌（011）737-1212㈹
仙 台（022）261-3431㈹
横 浜（045）663-1445㈹
名古屋（052）239-1251㈹
広 島（082）247-3978㈹
高 松（087）835-5568㈹
福 岡（092）441-6121㈹


9223-2445-61 P-E011

### お買い上げありがとうございます。

CAPIOS 75は、コンパクトなボディに28〜75mmの2.7倍ズームレンズを内蔵したフルオートカメラです。高精度マルチビームAFにより、きれいな写真が写せます。また、撮影シーンセレクターが、それぞれのシーンに応じた最適の状態にカメラを設定しますので、いろいろな撮影が手軽に楽しめます。

このカメラの機能を十分に活用していただくために、この使用説明書をご使用前にお読みください。またお読みになったあとは、保証書、アフターサービスのご案内とともに大切に保管してください。

## 正しく安全にお使いいただくために

この使用説明書では、正しく安全に製品をお使いいただくために、またあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を用いています。よく理解して正しく安全にお使いください。

この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が予想される内容を示しています。

### 絵表示の例

△記号は、注意を促す内容があることを告げるものです（左図の場合は発熱注意）。

### ⚠警告

●指定された電池以外は使わないでください。
●電池の極性（＋／−）を逆に入れないでください。
●火中への投入、充電、ショート、分解、加熱をしないでください。

電池の液漏れ・発熱・破裂の恐れがあります。

電池は使い切ってから廃棄してください。また廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁してください。
他の金属と接触すると発熱・破裂・発火の恐れがあります。お住いの自治体の規則に従って正しく廃棄するかリサイクルしてください。

製品および電池や付属品を、幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児が電池を飲む込む等、事故の恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

落下や損傷により内部が露出した場合は、すみやかに電池を抜き、使用を中止してください。
感電や火傷の恐れがあります。また内部に手を触れないでください。

分解しないでください。

修理や分解が必要な場合は、当社サービスセンター・サービスステーションにご依頼ください。内部の高圧回路に触れると、感電の恐れがあります。

万一、使用中に高熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、すみやかに電池を抜き、使用を中止してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

### ⚠注意

レンズが前方に伸びた状態で、レンズ部分を持たないでください。
しばらく操作しないでいると、自動的にレンズが収納されます。手を触れていると、手をはさむ恐れがあります。

## ストラップを取り付けます

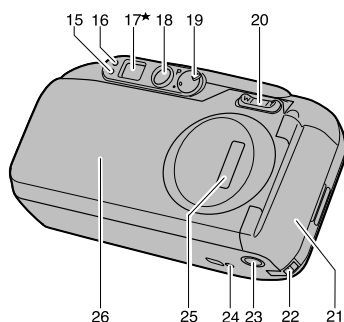
図のようにして、ストラップを取り付けます。

## 各部の名称

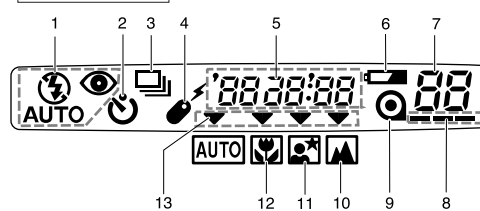
### 本体正面

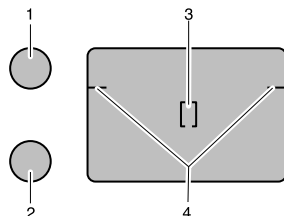
1.シャッターボタン
2.日付け・時間写し込み用ボタン
3.液晶表示部
4.撮影シーンセレクトボタン
5.セルフタイマー/リモコンボタン
6.フラッシュモードボタン
7.フラッシュ*
8.裏ぶた開放レバー
9.測距窓*
10.ファインダー対物窓*
11.受光窓*
12.レンズ*
13.セルフタイマー/リモコン作動表示ランプ
14.測距窓*/リモコン受信部*

★部は汚さないようご注意ください。（誤作動の原因になります）

### 本体背面

15.フラッシュ表示（オレンジランプ）
16.フォーカス表示（緑ランプ）
17.ファインダー接眼窓*
18.メインスイッチ
19.パノラマ切り替えレバー
20.ズームレバー
21.電池室ふた
22.ストラップ取り付け部
23.三脚ねじ穴
24.途中巻き戻しボタン
25.フィルム確認窓
26.裏ぶた

### 液晶表示

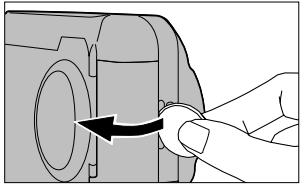
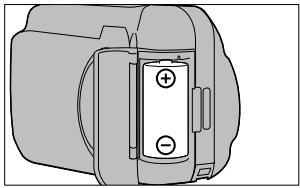
説明のため全ての表示を点灯させています。

1.フラッシュモードマーク
　AUTO：自動発光モード
　AUTO 👁：赤目軽減自動発光モード
　⚡：強制発光モード
　⊘：発光禁止モード
2.セルフタイマーマーク
3.連続撮影マーク
4.リモコンマーク
5.日付・時間表示
6.バッテリー警告表示
7.フィルムカウンター
8.フィルムマーク
9.パトローネマーク
10.遠景・夜景モード
11.夜景ポートレートモード
12.クローズアップモード
13.セットマーク

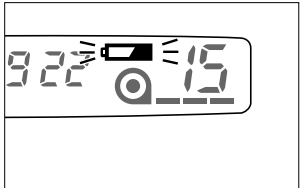
### ファインダー

1.フォーカス表示（緑ランプ）
　点灯：ピントが合っています。
　点滅：被写体が近すぎます。
2.フラッシュ表示（オレンジランプ）
　点灯　：フラッシュが発光します。
　すばやく点滅：フラッシュが充電中です。
　ゆっくり点滅：シャッター速度が遅くなっています
　　（三脚などでカメラを固定してください）。
3.フォーカスフレーム
4.近距離補正マーク

## 主な性能

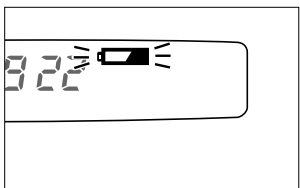
| | |
|---|---|
| レンズ | ：ミノルタレンズ28-75mm/F3.5-8.9 |
| 最大撮影倍率 | ：約1/4.3倍(焦点距離75mm、撮影距離0.4mのとき) |
| 露出制御範囲(ISO100) | ：28mm時：EV2.6〜17<br>75mm時：EV3.3〜17 |
| スローシャッタースピード | ：夜景ポートレートモード時は1秒、<br>遠景・夜景モード時は8秒。 |
| フィルム撮影可能本数 | ：約13本(新品電池で電池消耗までに撮影できる本数<br>24枚撮りフイルムでフラッシュ使用率50%として) |
| ファインダー倍率 | ：28mm時：0.30倍。75mm時：0.68倍 |
| 大きさ：カメラ本体 | ：121(幅)×66.5(高さ)×44(奥行)mm |
| リモコン | ：31.5(幅)×66(高さ)×6(厚さ)mm |
| 重さ：カメラ本体 | ：245g(電池別) |
| リモコン | ：12g(リモコン用電池含む) |

●本書に記載の性能は当社試験条件によります。
●本書に記載の性能及び外観は、都合により予告なく変更することがあります。

## 電池を入れます（お買い上げの際には、電池はすでに入っています。）

①メインスイッチを押して電源を切った後、コインなどを使って、電池室のふたを開けます。

②電池室ふた内側の＋－表示に従って電池を入れ、ふたを閉じます。

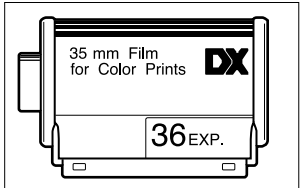
●電池交換後は、必ず日付け・時間表示を確認してください。必要な場合には、裏面の「日付けや時間が写し込まれます」を参照の上、再設定してください。

電池交換について

撮影の途中で ▭ が点滅したら、新しい電池をご用意ください。（このままでもしばらくは撮影できます）

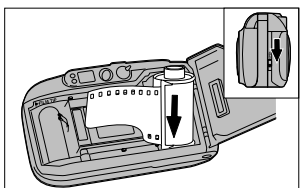
●電池は、3Vリチウム電池(CR123AまたはDL123A)1個を使います。

▭ が点滅し、日付け以外の液晶表示が消えたら電池を交換してください。（この状態ではシャッターは切れません）

●お買い上げ時の電池は、出荷時に入れたものなので、新品電池と比べて消耗が早くなることがあります。

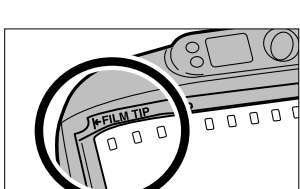
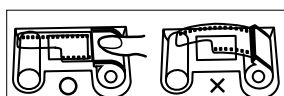
かんたん撮影ステップ2

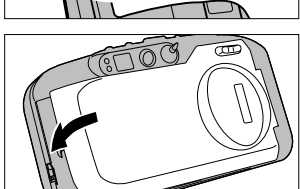
## フィルムを入れます

フィルム感度ISO25～3200のDXコード付きフィルムを使います。

●暗いところや望遠での撮影が多い場合は、ISO400以上のフィルムをおすすめします。

●ポラロイドインスタントリバーサルフィルムは、巻き上げがうまくできないことがありますので使用しないでください。

①裏ぶた開放レバーを押し下げて裏ぶたを開け、フィルムルを入れます。

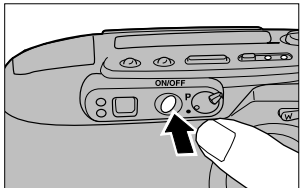
●フィルム確認窓でカメラの中にフィルムが入っていないか確認できます。フィルムの有無を確認してから、裏ぶたを開けてください。

●フィルムの出し入れは、直射日光を避けて行ってください。

②フィルムの先端を「｜←FILM TIP」マークに合わせます。

●フィルムが浮き上がらないようにセットしてください。

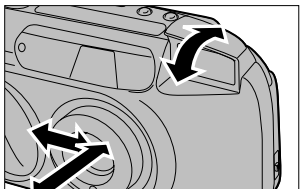
●フィルムの先端をカメラに入れ過ぎないようにしてください。先端が出過ぎたときは、パトローネの中に押し戻して下さい。

③裏ぶたを閉じます。

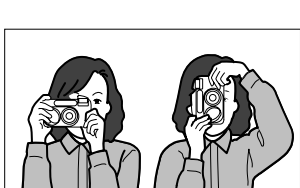
●フィルムが自動的に巻き上げられ、液晶表示部に ⓠ__1 が出ます。

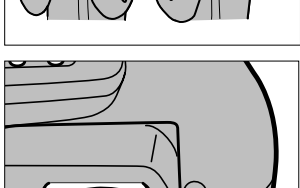
● __0 が点滅しているときは、フィルムが巻き上げられていません。裏ぶたを開けてフィルムを正しく入れ直してください。

## フルオートで撮影します

①メインスイッチを押して、電源を入れます。

●電源を入れるとレンズのカバーが開き、レンズとフラッシュが動きます。

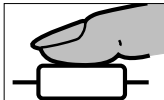
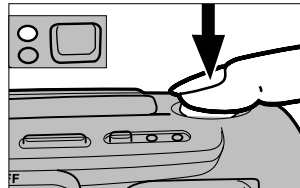
●電源を切るには、もう一度メインスイッチを押します。

●約８分以上何も操作しないときは、レンズとフラッシュが引き込まれ、節電のため自動的に電源が切れます。

●ピントがずれたり故障の原因になることがありますので、ズームレンズの繰り出し部分を持ったり、ズームやフラッシュの動きを妨げないでください。

②カメラをしっかり構えます。

●レンズやフラッシュ、測距窓など、カメラの前面に指や髪、ストラップがかからないようにしてください。

③ファインダーをのぞき、ズームレバーを操作して、撮りたいものの大きさを決めます。

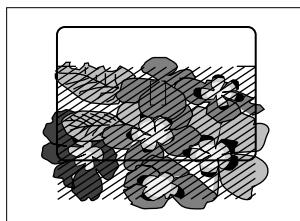
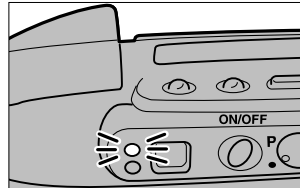
●ズームレバー上のWを押すと広角になり、より広い範囲が写ります。Tを押すと望遠になり、より大きく写ります。

## フルオートで撮影します(つづき)

④ピントを合わせたいものに［ ］を重ねて、シャッターボタンを「半押し*」します。

*シャッターボタンを軽く押すと、途中で少し止るところがあります。この使用説明書では、ここまで押すことを半押しと呼んでいます。

⑤ファインダー横の緑ランプが点灯したら、そのままシャッターボタンを静かに押し込みます。

●暗いときは、フラッシュが自動的に発光します。

●撮影後フィルムは自動的に次のコマに進みます。

## 撮りたいものが近くにあるときは

●ズームが75mmになっていて、1.2 m未満の距離にあるものを撮るときは、近距離補正マークの内側(斜線の範囲）が写ります。ピントを合わせたいものをフォーカスフレームに入れて、シャッターボタンを半押しした後、構図を変えて撮影してください。

●40cmより遠くのものにピントが合います。撮りたいものに近づきすぎると緑ランプが点滅して知らせしますので(シャッターは切れません)、40cmより離れて撮影してください。

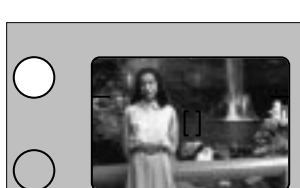
●極端に近い場合、緑ランプが点灯してシャッターが切れることがありますが、ピントは合いません。

## 撮りたいものが画面中央にないときは

ピントを合わせたいものが画面の中央にないときは、一時的にピントを固定して撮影します。

①ピントを合わせたいものに[ ]を重ねます。

②シャッターボタンを半押しします。

●緑ランプが点灯し、ピントが固定されます。

③シャッターボタンを半押ししたまま撮りたい構図に変え、シャッターボタンをそのまま押し込みます。

●このカメラはマルチビームAFを採用することにより、ピントの中抜けが起こりにくくなっていますが、焦点距離によってフォーカスエリアが変化しますので、写したいものが画面中央に無い場合はこの方法をお勧めします。

## オートフォーカスの苦手な被写体

以下のような撮影条件ではオートフォーカス機構が働きにくい場合があります。

●オートフォーカスレーム周辺に、非常に明るい光や強い反射がある場合。

●自動車のボディや水面など光を反射しやすいものを写すとき。

●髪の毛など光を反射しにくいものを写すとき。

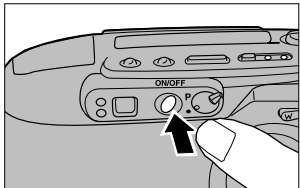
●花火や炎など、実体のないものを写すとき。

●ガラス越しに撮影するとき。

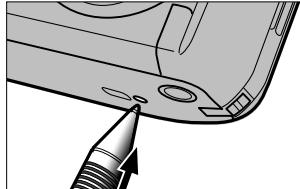
●オートフォーカスフレームより小さいものを撮影するとき

このようなときには、写したいものとほぼ同じ距離で同じくらいの明るさの別のものにフォーカスフレームをあわせ、シャッターボタンを半押しし、その状態で写したいものに構図をあわせて撮影してください。

かんたん撮影ステップ4

## フィルムを取り出します

最後のコマまで撮り終えると、フィルムは自動的に巻き戻されます。巻き戻しが終了して液晶表示部のフィルムカウンターが０になり、ⓠ が点滅したら、裏ぶたを開けてフィルムを取り出します。

●規定枚数以上撮影できることがありますが、最後のコマはプリントされないことがあります。

●全ての表示が点滅して巻き戻しが途中で止ったときは、電池を入れ替えてから途中巻き戻しボタンを軽く押してください。

フィルムを途中で巻き戻すには

メインスイッチを押して電源を入れた後、ボールペンなどの先の細いもので途中巻き戻しボタン（穴）を軽く押します。

●鉛筆やシャープペンシルの芯先で押したり、ボタンを強く押し込んだりしないでください。故障の原因となります。

## ご注意

### おかしいなと思ったら

●電池容量が十分あるのにカメラが動かなくなったとき、または液晶表示部の表示がすべて点滅したときは、電池を一度取り出して入れ直してから、メインスイッチを押して電源を入れてください。それでも直らない場合、また何度も繰り返して同じ状態になるときは、お近くの当社サービスセンターまたはサービスステーションにお問い合わせください。

### 海外旅行や結婚式など大切な撮影のときは

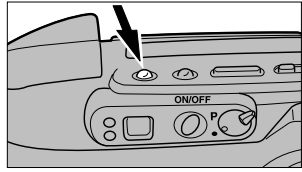
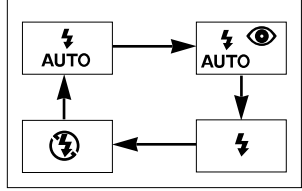
●前もって作動の確認、またはテスト撮影をしてからご使用ください。

●万一、このカメラを使用中に、撮影できなかったり、不具合が生じた場合の補償についてはご容赦ください。

### アフターサービスについて

●本製品の補修用性能部品は、生産終了後7年間を目安に保有しています。

●アフターサービスについては、「アフターサービスのご案内」に詳しく記載しています。

## フラッシュモードが選べます

自動発光モード AUTO の他に、赤目軽減自動発光 AUTO 、強制発光 、発光禁止 の３つのモードが選べます。

フラッシュモードボタンを押すごとに、図の順序でフラッシュモードが変化します。

### AUTO 暗いときはフラッシュが自動発光します(自動発光モード)

電源を入れたとき、フラッシュは自動発光モード AUTO あるいは赤目軽減自動発光モード AUTO のうち、どちらか前回撮影されたモードになり、暗いとき自動的に発光します。

| | ISO100 | ISO400 |
|---|---|---|
| 28mm | 0.4m～5.9m | 0.4m～11.8m |
| 75mm | 0.4m～2.3m | 0.4m～4.6m |

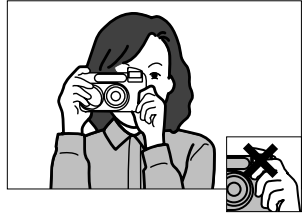
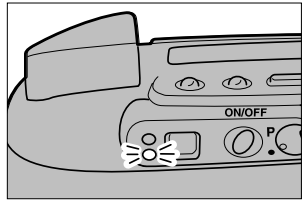
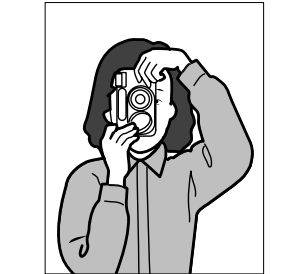
ネガカラーフィルム使用時

**フラッシュ光の届く距離**

フラッシュ光の届く距離は、レンズの焦点距離やフィルムの感度によって変わります。表を目安に、この範囲内で撮影してください。

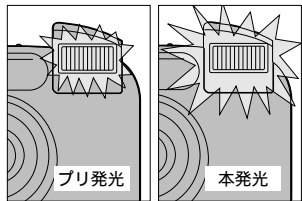
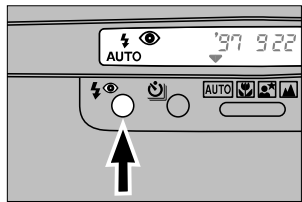
**フラッシュ表示(オレンジランプ)の働き**

シャッターボタンを半押ししたときにファインダー横のオレンジランプが点灯すれば、フラッシュが発光します。

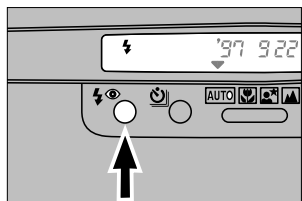
●ランプがすばやく点滅している場合は、フラッシュが充電中です。しばらく待ってください。オレンジランプが点灯すれば、撮影が行えます。（フラッシュ充電時間は、新品電池で約0.3～7秒です）。

●カメラを構える時は、フラッシュに指がかからないようにしてください。
●フラッシュ発光時、フラッシュを指で倒していると、シャッターは切れません。

●縦位置で撮影するときは、フラッシュ発光部が上になるようにカメラを構えてください。フラッシュ発光部を下にして撮影すると、影の見苦しい写真になります。

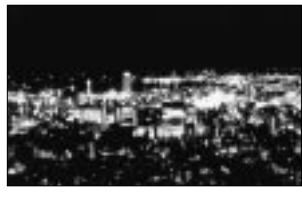
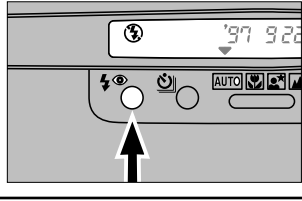
### AUTO 目が赤く写るのをやわらげるには(赤目軽減自動発光モード)

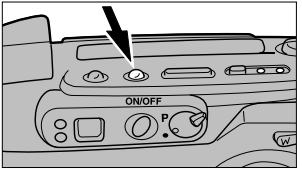
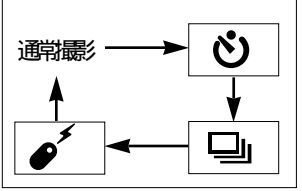
プリ発光

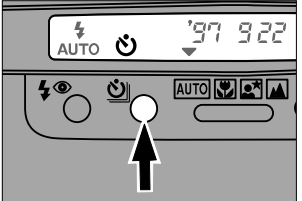
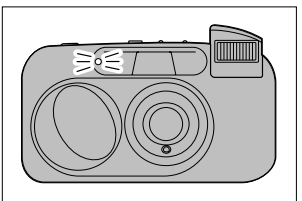
本発光

通常の自動発光モードと同じようにフラッシュが自動発光しますが、撮影の直前に小光量のフラッシュが発光します(プリ発光)。これにより、暗いところで人物撮影した場合に、目が赤く写るのを目立たなくします。

①フラッシュモードボタンを押して AUTO マークを選びます。
②シャッターボタンを押して撮影します。
●このとき、プリ発光と一緒にファインダー横のオレンジランプも点滅します。
●シャッターボタンを押してからシャッターが切れるまでの間、カメラを動かしたり、被写体が動かないように注意してください。

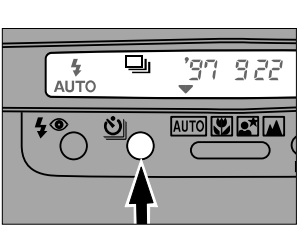
### フラッシュを必ず発光させたいときは(強制発光モード)

逆光の時や、明るい屋外で人物の顔に帽子の影ができているとき、また蛍光灯のついた明るい室内で撮影するときなど、フラッシュを発光させるとより美しい写真が撮れます。

①フラッシュモードボタンを押して、 マークを選びます。
②シャッターボタンを押して撮影します。

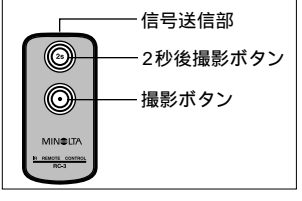
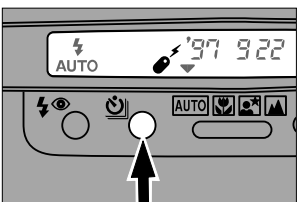
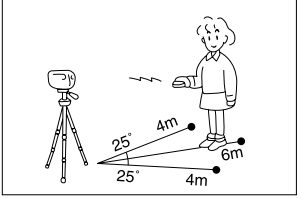
### 夕景·夜景を撮影するときは(発光禁止モード)

発光禁止モードで撮影すると、夕方の風景や街の夜景も暗くならずに撮れます。美術館などフラッシュの使用が禁止されている場所でもこの方法で撮影します。

①フラッシュモードボタンを押して、 マークを選びます。
②シャッターボタンを押して撮影します。
●暗いところではシャッター速度が遅くなり(最長8秒)、写真がブレやすくなります。ファインダー横のオレンジランプがゆっくり点滅してお知らせしますので、三脚などでカメラをしっかり固定してください。

## セルフタイマー/連写/リモコン撮影が選べます

通常撮影の他に、セルフタイマー撮影 、連続撮影 、リモコン撮影 が選べます。

セルフタイマー/リモコンボタンを押すごとに、図の順序でモードが変化します。

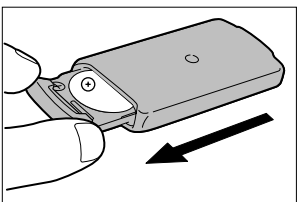
### セルフタイマー撮影モード

撮影者も写真にはいることができますので、全員での記念撮影などに便利です。
①カメラを三脚などに固定してから、セルフタイマー/リモコンボタンを押して マークを点灯させます。
②撮りたいものに[ ]を重ね、シャッターボタンを押し込みます。

●液晶表示部の マークとカメラ前面の赤ランプが点滅し始め、約10秒後にシャッターが切れます。シャッターの切れる直前にランプの点滅が早くなるので、シャッターの切れるタイミングがわかります。
●撮影後は、通常撮影(AUTO)に戻ります。
●セルフタイマー撮影を中止したいときは、シャッターが切れる前にセルフタイマー/リモコンボタンを押すか、メインスイッチを押して電源を切ってください。

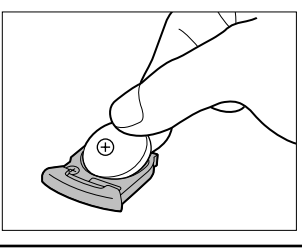
### 連続撮影モード

走っている子供など、動いているものをイキイキととらえることができます。
①セルフタイマー/リモコンボタンを押して、 マークを点灯させます。
②シャッターボタンを押している間、シャッターが切れ続けます。(約1.5秒間隔)
●フラッシュ撮影の場合は、フラッシュの充電が完了してからシャッターが切れます。

●シャッターボタンから指を離すと連続撮影は中断しますが、連続撮影モードは解除されません。
●撮影シーンセレクターと併用時、一連の連続撮影終了まで撮影シーンセレクターは解除されません。

### リモコン撮影モード

付属のリモコン（IRリモコンRC-3）を使うと、カメラから離れてシャッターを切ることができます。
２秒後撮影ボタン(2s)を押すと２秒後に、撮影ボタン(●)を押すとすぐにシャッターが切れます。

①カメラを三脚などに固定してから、セルフタイマー/リモコンボタンを押して マークを点灯させます。
●カメラの後ろに明るい光源や反射物などがないように注意してください。
●逆光時や蛍光灯の近く、極端に明るい場所では、リモコン撮影が可能な距離が短くなったり、リモコン撮影できないことがあります。
●８分以上カメラ、リモコンを操作しないと、自動的に電源が切れます。

②図の範囲内で、リモコンの信号送信部をカメラに向け、2sボタンか●ボタンを押します。
●2sボタンを押した場合はカメラ前面の赤ランプが点滅し始め、約2秒後にシャッターが切れます。●ボタンを押した場合は、赤ランプが１回点灯して、すぐにシャッターが切れます。
●撮影後も、リモコン撮影のままです。

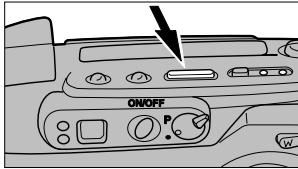
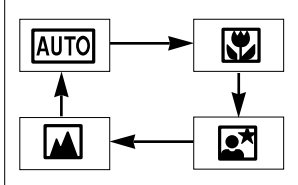
**撮りたいものが画面中央にないときは**

①撮りたいものに[ ]を重ねてシャッターボタンを半押しし、一時的にピントを固定します。
②ファインダー横の緑ランプが点灯したら、シャッターボタンから指を離して撮りたい構図に戻し、リモコンで撮影します。
●撮影後も、ピント位置はそのままになっています。構図を変えたいときは、①、②の操作をし直すか、いったんメインスイッチを切ってから、再びリモコン撮影モードを選んでください。

**リモコン用電池の交換**

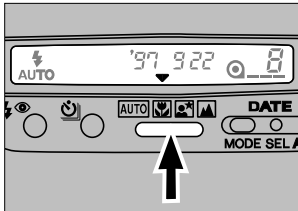
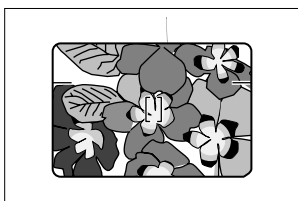
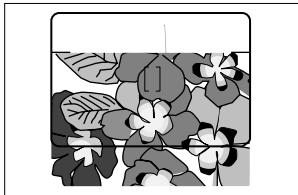
コイン型リチウム電池(CR2032)1個を使用しています。リモコンのボタンを押してもシャッターが切れなくなったら、電池交換してください。(電池の寿命は約10年です。お買い上げ時に入っている電池は出荷時に入れたものなので、新品電池と比べて消耗が早くなることがあります)
①リモコンを裏向けて、電池室を引き出します。

②古い電池を取り外し、新しい電池を＋側を上にして入れます。
③電池室を確実にはめ込みます。

**注意**

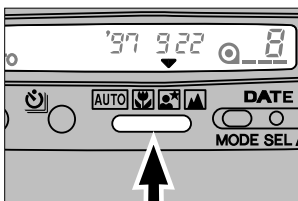
コイン型電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

## いろいろな撮影シーンが楽しめます

通常撮影 AUTO の他に、クローズアップ 、夜景ポートレート 、遠景 の3通りのシーンに対するモードが選べます。

撮影シーンセレクトボタンを押すごとに図の順序でモードが変化します。
●電源を入れたときは、通常撮影 AUTO になっています。
●各モードで撮影した後は、通常撮影 AUTO に戻ります。

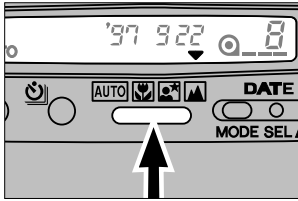
### 近づいて大きく撮影できます(クローズアップモード)

写したいものに40cmまで近づいて大きく撮ることができます。
●パノラマ撮影時は、クローズアップモードに設定できません。

①撮影シーンセレクトボタンを押して、 マークの上に▼を合わせます。
●約２秒後にレンズが75mmの位置になります。
●ズームレバーを操作すれば、通常撮影のように写す範囲を変えることもできます。
●事前に設定した強制発光モード や発光禁止モード は、いったん解除されますが、フラッシュモードボタンを押せば、お好きなモードが選べます。

②ピントを合わせたいものに[ ]を重ね、シャッターボタンを半押しします。
●クローズアップモードでは、40cm～1mのものにピントが合います。この範囲外のものを撮ろうとしても、緑ランプが点滅し、シャッターは切れません。

③シャッターボタン半押しのまま、カメラを少し上に向けて、撮りたいものが近距離補正マーク内におさまるように構図を変え,シャッターボタンを押し込みます。

### 夜景を背景にした人物を撮るときは(夜景ポートレートモード)

夜景ポートレートモードで撮影すると、シャッター速度が遅くなり、フラッシュも発光するので、人物も後ろの夜景も両方写せます。
●シャッター速度が遅くなりますので(最長１秒)、カメラを三脚などに固定してください。また写される人にも声をかけて、動かないように気を付けてもらうことをおすすめします。

①撮影シーンセレクトボタンを押して、 マークの上に▼を合わせます。
●フラッシュは強制発光モード になります。赤目軽減の有り無しは、フラッシュモードボタンを押すことで変更できます。それ以外のモードには変更できません。
②構図を決めて、シャッターボタンを押し込みます。

### 遠くの景色や夜景を撮るときは(遠景・夜景モード)

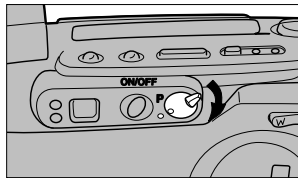
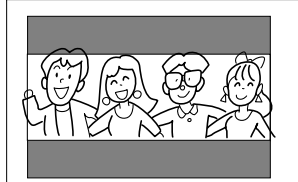
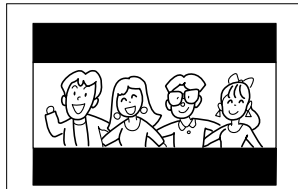
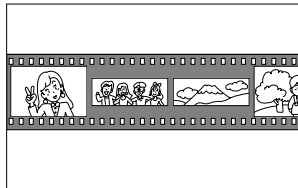
ピントが無限遠になり、遠くのものがシャープに写ります。ガラス窓越しの風景などもくっきり撮れます。

①撮影シーンセレクトボタンを押して、 マークの上に▼を合わせます。
●フラッシュは発光禁止モード になり、他のモードに変更できません。
夜景や夕景を撮影するときは、シャッタースピードが遅くなります。
三脚などでカメラを固定して撮影してください。
②構図を決めて、シャッターボタンを押し込みます。

## 取り扱いについて

### 使用温度

●このカメラの使用温度範囲は-10～40℃です。
●直射日光下の車の中など、極度の高温下にカメラを放置しないでください。
●液晶表示は、低温下で反応がやや遅くなったり、高温下で表示が黒くなったりすることがありますが、常温にもどせば正常に作動します。
●湿度の高いところにカメラを放置しないでください。
●カメラに急激な温度変化を与えると内部に水滴を生じる危険性があります。スキー場のような寒い屋外から暖かい室内に持ち込む場合は、寒い屋外でカメラをビニール袋に入れ、袋の中の空気を絞り出して密閉します。その後室内に持ち込み、周囲の温度になじませてからカメラを取り出してください。

## パノラマ撮影ができます

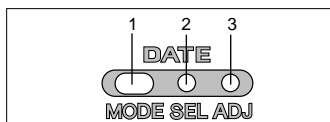
フィルムの途中で、パノラマ撮影に切り替えることができます。
●クローズアップモード設定時、パノラマ撮影に切り替えるとクローズアップモードは解除されます。

①パノラマ切り替えレバーを矢印方向に回し「P」にします。
●ファインダーがパノラマ用に切り変わります。
●逆方向に回し「○」にすると、通常撮影に戻ります。

②シャッターボタンを押して撮影します。
●実際にフィルムに写った画面よりもプリントされる範囲がやや狭くなる場合がありますので、構図を決めるときは画面の周辺部に少し余裕を持たせてください。
●パノラマ撮影のときも、日付・時間を写し込むことができます。
●パノラマ撮影のときは、撮りたいものから1.2m以上離れて撮影してください。1.2m以内の場合は、ファインダー横の緑ランプが点滅してシャッターは切れません。

●パノラマ撮影したフィルムを通常サイズでプリントすると画面の上下に黒い帯が写ります。

**パノラマ撮影したフィルム**

図のようにコマの上下がカットされた状態になっています。
●パノラマ写真のプリントサイズは、90×250mm(標準)です。
●パノラマ撮影しても、フィルムの撮影枚数は通常とかわりません。

**パノラマ撮影したフィルムを現像・プリントに出すときは**

標準とパノラマの混在するフィルムを通常サイズで出すと、パノラマ撮影したコマだけプリントされないことがあります。
パノラマ撮影したフィルムであることをお店に伝えて出してください。

## 日付けや時刻が写し込まれます

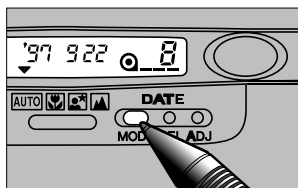
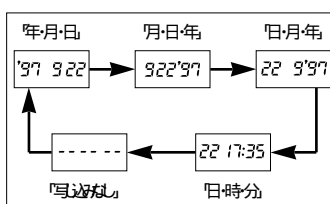
1.MODEボタン(表示切り替え)
2.SELECTボタン(修正位置選択)
3.ADJUSTボタン(数値設定)

**データの写し込み位置**

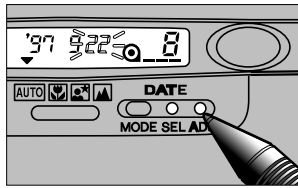
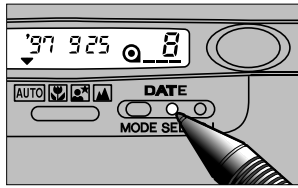
日付け、時刻が写し込まれる位置は、画面の右下です。
写し込み位置や文字の大きさは、プリントの状態により多少変わることがあります。

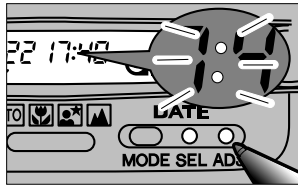
**表示モードの切り替え**

MODEボタンを押すごとに、図の順序で表示モードが変化します。

**注意**

●写し込み位置にオレンジ色または白/黄色などの明るい色のものがあると、写し込んだ文字が読みにくくなります。
●写し込みは、次のコマに巻き上げるときに行われるので、最後のコマでは写し込めないことがあります。
●低温(0℃以下)または高温(40℃以上)のところでは、写し込み機能が正常に動かないことがありますので、使用しないでください。

**日付け・時間の修正**

2029年までの日付けに対応します。カメラ本体の電池を外すと、設定してある日付けが消去されることがありますので、必ず日付け・時刻表示を確認してください。
変更が必要な場合には、以下の手順で再設定して下さい。
①MODEボタンを押して修正したい日付または時刻を表示させます。

②SELECTボタンを押して修正したい部分を点滅させます。
●SELECTボタンを押すごとに点滅箇所が変わります。

③ADJUSTボタンを押して、数値を修正します。
●押し続けると、早送りされます。

④修正が終わったら、点滅が止まるまでSELECTボタンを何回か押します。

**秒を合わせるには**

①「日･時･分 モードにしてから、SELECTボタンでコロン(：)を点滅させます。
②時報に合わせて、ADJUSTボタンを押します。
●時計が0秒からスタートします。

③修正が終わったら、点滅が止まるまでSELECTボタンを押します。